

# 社会科学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 日 時 12月○日(○) 第○校時
- 2 学 年 第6学年○組
- 3 単 元 「世界に歩み出した日本」
- 4 単元について

## ○ 教材について

本単元は、明治時代中・後期から大正期にかけて、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などの歴史的事象を手掛かりに、我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したことを理解することをねらいとしている。

ペリー率いる米国艦隊の来航をきっかけに我が国が開国し、江戸幕府が政権返上したことで、明治政府が誕生した。近代化が進んだり欧米から新しい文化や考え方を広く取り入れたりしたことで、人々の生活が大きく変化していった。その中で、開国時に結んだ日本と欧米諸国との不平等条約によって日本の産業の発展への道のりは険しいものであった。日本の産業を発展させるためにはこの不平等条約を改正することが必要となった。そのため、日本は欧米諸国と交渉をして不平等条約を改正したり、日清・日露戦争に勝利し講和条約によって国の安全を確保したりして産業を発展させ、その結果、日本の国際的地位が向上した。それだけでなく、日本の医学や科学においても、世界的に注目された研究を行ったり、発見・発明をしたりしたことで、世界に認められたことも国際的地位の向上に関係している。

その立役者の一人に物理学者の増本量がいる。増本量は矢賀村出身であり、金属物理学的な研究・発明は日本国内及び世界にも大きな功績を残している。工業的な分野に移植すれば、ラジオ・テレビ・腕時計・測量計・その他一般精密計測器機などわれわれの文化生活に欠くことのできないあらゆる器物の材料として世界的に広く利用されている。

## ○ 児童の実態について

本学級の児童は、歴史的事象や歴史上の人物の働きなどについて興味を持って学習を進めている。特に、戦国時代といったたくさんの歴史上の人物が登場する時代への興味が高く、その時代の歴史漫画や本を読書の時間によく読んでいる。これまでの学習から、写真や絵から分かることを読み取ったり、資料を比較して考えたりすることはできるようになってきた。また、学習問題を作ったり、予想を立てたりする中で意欲的に自分の意見や考えを発表できる児童もいる。

一方で、歴史の学習に対して意欲の低い児童もいる。また、資料の読み取りはできるが、「なぜそのようなことになったのか」「その人物はどのような思いをもっていたのか」などの問いに対して、自分の意見を持つことが難しい児童が多い。

## ○ 指導観について

単元を貫く学習問題を「なぜ日本は世界の中での立場は大きく変化したのだろうか」と設定する。写真や絵、グラフから読み取ったり比較して考えたりすることに加えて、人物の働きに着目して思考させていくことを通して、「なぜ日本の世界の中での立場は大きく変化したのだろうか」という問いに迫りたい。そのために、当時の日本の社会状況や欧米との関係性を理解したり、人物の思いや働きを調べたりして日本と世界の国々との関係や世の中の変化を考えていきたい。また、児童の意欲・関心を高めるために、同じ矢賀出身であり、日本の物理学上世界的な貢献をしている増本量を取り上げる。その際、児童

に身近な増本量も取り上げるにより、我が国の歴史や伝統を大切にしようとする態度を育てることにつなげていきたい。

## 5 単元の目標

- 日清・日露戦争，条約改正，科学の発展やそれらにかかわる人物の働きを理解し，我が国の国力が充実し，国際的地位が向上したことや，それによって人々の生活や社会が変化したことが分かるとともに，それらにかかわる人物の願いや働きを考えようとする。
- 日清・日露戦争，条約改正，科学の発展やそれらにかかわる人物の働きから学習問題を見だし，調べたことをまとめ，我が国の国力が充実し，国際的地位が向上したことやそれらにかかわる人物の願いや働きについて思考・判断したことを適切に表現する。

## 6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 日清・日露戦争，産業の発展や条約改正などによって我が国の国力が充実し，国際的地位が向上したことを理解している。 ② 我が国の産業がさかんになり，国際的地位が向上したことによって，人々の生活や社会が変化したことを理解している。	① 日清・日露戦争，条約改正，科学の発展やそれらにかかわる人物の働きについて，学習問題や予想，学習計画を考え，表現している。 ② 我が国が欧米の文化を取り入れ，国力が充実し，国際的地位が向上したことについて調べ，調べたことを関連づけたり総合したりして，それらにかかわる人物の願いや働きについて考え，適切に言語などに表現している。	① 日清・日露戦争，条約改正，科学の発展やそれらにかかわる人物の働きに関心をもち，進んで調べようとしている。 ② 世界の中での日本の立場に関心をもち，それがどのように変化してきたか進んで調べようとしている。

## 7 学習指導計画（全8時間・本時6/8）

過程	ねらい	主な学習活動と内容	■教師の働きかけ □評価 ☆資料
社会認識を育てる場	○ 産業の発展や欧米諸国に追いつこうとしている日本の様子を知り，学習問題を考えることができる。	資料から日本と世界の国々の関係を読み取り，学習課題を立てよう。 ① ビゴアの風刺画を読み取り，気付いたことやわかったことを話し合う。 ・ 日本は洋服に下駄を履いていて変な格好をしている。 ・ イギリスに紹介されている。	■ 2つの風刺画を見て気付きを見つけたり比較をしたりすることで，世界の中での日本の立場の変化を読み取ることができるようにする。 □ 思①：ノート・発言 ☆ ビゴアの風刺画

であう

ふかめる

- 世界の国々は態度が大きい。
- 日本はにらまれている。
- 偉そうにしている。
- 地球の上に立って力を誇示している。
- 外国を支配している。

なぜ日本の世界の中での立場は大きく変化したのだろうか。

(予想)

- 富国強兵によって日本は欧米と立場を対等にしていったから。
- 外国と戦争をして勝ち、力を認めさせたから。
- 外国の技術や文化を取り入れ工業が発展したから。
- 不平等条約を改正することができたから。
- 日本の技術力を世界が認めたから。

(調べたらよいこと)

- 外国との戦争
- 工業の発展の様子
- 外国との不平等条約
- 日本の政策の様子
- 日本の技術力

○ 不平等条約が日本にもたらしていた不利益や条約改正に取り組んだ陸奥宗光の願いや働きを資料から読み取ることができる。

② 図を見て不平等条約の内容を読み取り，条約改正に取り組んだ陸奥宗光の働きについて知る。

■ 関税自主権がない場合や領事裁判権を認める場合について，具体的な例を用いることで，不平等な条約であったことに気付くことができるようにする。

なぜ日本は，不平等条約を改正することができたのだろうか。

- 思②：ノート
- ☆ 関税自主権がないことでの影響
- ☆ ノルマントン号事件の風刺画

	<p>○ 殖産興業によって、工場数が増えたり貿易品目が変化したりして、日本の工業が発展したことを理解することができる。</p>	<p>③ 工場数のグラフや貿易品目の推移、紡績工場の様子を資料を見て、日本の工業が軽工業から重工業へ変化していったことや、発展していったことを知る。</p>	<div data-bbox="507 398 1452 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>日本はどのようにして工業を発展させていったのだろうか。</p> </div> <p>■ 工場数や働く人の数が大きく増加したこと、貿易品目の変化や輸出額の増加などに着目させることで、工業が発展したことに気付くことができるようにする。</p> <p>□ 知①：ノート</p> <p>☆ 工場数の変化のグラフ</p> <p>☆ 貿易品目の推移のグラフ</p> <p>☆ 紡績工場の様子の写真</p>
	<p>○ 日清・日露戦争に勝利したことが日本の世界における地位向上につながったことを考えることができる。</p>	<p>④ 風刺画を見て、朝鮮をめぐる三国の関係に気付き、日清戦争や日露戦争の結果を知ることを通して、日本と世界の国々との関係がどのように変わっていったのかを話し合う。</p>	<div data-bbox="507 1310 1452 1377" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>日本は、外国とどのような戦争をしたのだろうか。</p> </div> <p>■ 資料から朝鮮をめぐる国々との関係や日清・日露戦争に勝利したことを読み取らせることで、日本の地位が向上したことに気付くことができるようにする。</p> <p>□ 思②：ノート</p> <p>☆ 朝鮮をめぐる三国の風刺画</p> <p>☆ 戦場の地図</p> <p>☆ 賠償金・戦費・戦死者のグラフ</p>

<p>○ 日清・日露戦争に勝利した日本が、朝鮮を植民地にし、条約改正をすることができたことで世界と対等な関係を築くことができたことを理解することができる。</p>	<p>⑤ 日清・日露戦争に勝利した日本が朝鮮を植民地にしたことや条約改正をすることができたことを捉え、世界の中の日本の立場がどう変化していったのかを考える。</p>	<div data-bbox="507 398 1449 488" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>日清・日露戦争に勝利した日本はどのような立場になったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資料から関税自主権の撤廃によって不平等条約を改正し、世界の国々と対等になったことを読み取らせる。</li> <li>■ 朝鮮を植民地にし、朝鮮語の授業をなくしたり土地の制度を変えたりしたことを知ることで、朝鮮半島の人々に損害を与えたことに気付くことができるようにする。</li> <li>□ 知①；ノート</li> <li>☆ 日本の領土の広がり</li> <li>☆ 朝鮮語の授業時間の変化のグラフ</li> </ul>
<p>○ 医学等の分野で国際的に活躍した日本人の存在が、国際的な地位の向上につながったことを理解することができる。</p>	<p>⑥ 日本が欧米諸国との不平等条約を改正したり、医学や科学等の分野で日本人が国際社会で活躍したりしたことで国際的な地位を向上させたことを知る。</p>	<div data-bbox="507 1352 1449 1420" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>なぜ日本は、国際的地位が向上したのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 不平等条約の改正や戦争の勝利、産業の発展だけでなく、医学や科学などの分野で世界的な貢献をしたことによって世界に認められたことに気付かせる。</li> <li>□ 思②：ノート</li> <li>☆ 世界からみた日本の評価</li> <li>☆ 増本量・野口英世の写真・文章資料</li> </ul>

		○ 産業の発展によって、人々の生活や社会が変化したことを理解することができる。	⑦ 産業の発展により人々の生活や社会がどのように変化したかを考える。	
				産業の発展により、人々の生活や社会はどのように変化したのだろうか。
				<input checked="" type="checkbox"/> 資料をもとに、当時の人々の生活の向上や産業の発展によって発生した問題、人々の活動について調べさせる。 <input type="checkbox"/> 知②：ノート <input checked="" type="checkbox"/> 田中正造の写真 <input checked="" type="checkbox"/> 全国水平社の活動の様子の写真・文章
実践的な力を育てる場	いかす	○ 日本の国力の充実や国際的な地位の向上、それらにともなう社会の変化を、人物の働きや思いと関連づけ、適切に表現することができる。	⑧ 人物カードに業績を書き込み、人々の働きと国際的地位の向上や国内での民主主義の広がりとの関連について話し合う。	
				学習問題について調べてきたことを人物カードにまとめよう。

## 8 本時の目標

増本量や野口英世といった人物の働きに着目し、日本の国際的地位が向上した背景を考えることができる。

## 9 本時の学習展開

学習活動	■教師の働きかけ	☆準備物	□評価
1 本時の課題をつかむ。	■ 前時までの学習を振り返り、日本と外国との関係を確認する。		
			なぜ日本は、国際的地位が向上したのだろうか。
2 前時までの学習をまとめる。	<input checked="" type="checkbox"/> 産業・戦争・条約の視点から日本の国際的地位が向上し、世界の国々と対等な立場になったことを考えさせる。 <input checked="" type="checkbox"/> 日本と欧米との関係が視覚的に分かるように、それぞれの国の力の大きさを○で表す。		
3 世界で活躍した日本人の様子や国内での新しい文学や科学の発展について調べる。	<input checked="" type="checkbox"/> 世界で日本人が活躍したことをおさえながら文化・学問について調べさせる。 <input checked="" type="checkbox"/> 野口英世・北里柴三郎・増本量の写真・文章資料		

<p>4 欧米諸国は世界で活躍した日本人のどこを認めたのかを考える。</p>	<p>(児童の思考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人々の生活に大きく影響を与えたこと。</li> <li>人々の命を救ったこと。</li> <li>科学力が向上したこと。</li> <li>世界の人々ができなかったことをしたこと。</li> </ul> <p>■ 日本が国際的地位を向上させることができたのは、戦争に勝利したり、条約を改正したりしただけではないことに気付かせる。</p> <p>■ 個人思考する時間を確保する。</p> <p>■ 思考したものを個人ボードにまとめ、黒板に類型化しながら貼らせる。</p>
<p>5 なぜ、日本は国際的地位が向上したのかを考え、まとめを書く。</p>	<p>■ 班ごとにボードにまとめて書かせ、キーワードを取り上げながらまとめるようにする。</p> <p>戦争の勝利や不平等条約の改正だけでなく、増本量や野口英世らの発明や研究が日本の科学や医学の発展につながり、世界的に認められたために日本の国際的地位が向上した。</p> <p>□ 思①：ノート</p>
<p>6 本時の振り返りをする。</p>	

10 参考文献

- ・石川悌次郎「増本量伝」誠文堂新光社 1976
- ・上山明博「ニッポン天才伝 知られざる発明・発見の父たち」毎日新聞社 2007
- ・志村幸雄「世界に勝てる！日本初の科学技術」PHP 研究所 2011
- ・清水勲「ビゴーが見た日本人」講談社 2001
- ・清水勲「ビゴーが見た明治ニッポン」講談社 2006

